

エグゼクティブ・トレーダーの採用について

投資研究クラブは、「資金運用サポートサービス」の事業プロジェクトをプロデュースしておりますが、このプロジェクトの中核となるのは、「超一流のエグゼクティブ・トレーダー」でございます。

この度のプロジェクトの理念と目的に賛同した「超一流のエグゼクティブ・トレーダー」たちが、投資家様の契約社員として資金運用業務を担当させていただきます。

金融商品取引業界には、外国為替証拠金取引、日経 225 先物取引で活躍するプロ・トレーダーが存在しますが、一般的には、彼らに関する情報などが公開されることはなく、且つ、特殊な職業であるため、投資家様がプロ・トレーダーについて具体的にイメージすることは難しいものと推察いたします。

そこで、以下にプロ・トレーダーについての概要を記載させていただきました。

1、プロ・トレーダーについて

プロ・トレーダーのカテゴリーと実力レベルについては概ね以下のとおりでございます。

① プライベート・トレーダー（運用資金の規模は 2,000 万円～5,000 万円）

- ・自己資金を運用しております。
- ・裁量取引により、運用資金に対して年 18%～24%（月平均 1.5%～2%）の利益を発生させております。
- ・12カ月の運用期間において、4ヵ月～5ヵ月は不規則に損失（1ヵ月に7%程度）を発生させておりますが、2ヵ月連続しての損失はなく、結果的に年 18%～24%の利益を発生させております。

② ブティック・トレーダー（運用資金の規模は2億円～5億円）

- ・小規模なファンド資金を運用しております。
- ・裁量取引により、運用資金に対して年 30%～42%（月平均 2.5%～3.5%）の利益を発生させております。
- ・12カ月の運用期間において、3ヵ月～4ヵ月は不規則に損失（1ヵ月に 8%程度）を発生させることもありますが、2ヵ月連続しての損失はなく、結果的に年 30%～42%の利益を発生させております。

③ エグゼクティブ・トレーダー（運用資金の規模は6億円～15億円）

- ・プライベートファンド資金を運用しております。
- ・裁量取引により、運用資金に対して年 60%～96%（月平均 5%～8%）の利益を発生させております。
- ・12カ月の運用期間において、1ヵ月は損失（1ヵ月に 10%程度）を発生させることもありますが、結果的に年 60%～96%の利益を発生させております。

2、社会保険の加入について

エグゼクティブ・トレーダーを契約社員として雇用しても社会保険の加入申請は必要ありません。

3、投資家の投資マインド

金利ゼロ政策が長期化する状況下において、一般投資家様の投資マインドは総じて上昇傾向にあります。

1) 一般投資家様の投資マインド

一般の投資家様が検討する投資対象は概ね以下のとおりに分類されます。

- ①不動産投資（固定資産）：利回り（年4%～6%）は低いが、リスクを回避する。
- ②金融資産投資（流動資産）：利回り（年6%～8%）はやや高いが、少しのリスクを取る。

2) 投資利回りの比較

前1)に記載の不動産投資、金融資産投資と「資金運用サポート」サービスを利用した投資家様の投資効率を比較しますと、概ね以下のとおりです。

「資金運用サポートサービス」を利用する投資家様の運用利回りは、「年9%~32%」ですので、投資効率は不動産投資の5倍、金融資産投資の4倍になります。

4、運用利回り

エグゼクティブ・トレーダーの運用資金に対する利回りが、年 60%~98%の実績を維持しておりますので、投資家様の運用利回り「年9%~32%」を確保することが可能になります。

この度の「資金運用サポートサービス」につきまして、投資家様へ広くご案内させていただければ幸いです。

投資研究クラブ
事務局長 大蔵 徹